

2019年3月期 第3四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第3四半期(累計)業績	2018/3期 第3四半期		2019/3期 第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	78,329	100.0%	82,173	100.0%	3,844	4.9%
営業利益	4,613	5.9%	5,589	6.8%	975	21.1%
営業外収益	1,052	1.3%	1,023	1.2%	△28	△2.8%
営業外費用	876	1.1%	1,094	1.3%	217	24.8%
うち支払利息	565	0.7%	666	0.8%	100	17.8%
うち為替差損	189	0.2%	195	0.2%	5	3.1%
経常利益	4,789	6.1%	5,518	6.7%	729	15.2%
特別損失	140	0.2%	-	-	△140	△100.0%
税金等調整前四半期純利益	4,648	5.9%	5,518	6.7%	869	18.7%
法人税等	1,224	1.6%	1,648	2.0%	424	34.6%
法人税等調整額	513	0.7%	115	0.1%	△397	△77.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益	563	0.7%	549	0.7%	△13	△2.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,346	3.0%	3,203	3.9%	857	36.5%
為替レート(1USドル/円)	112.73		113.57			
為替レート(1ユーロ/円)	132.85		132.14			

＜第3四半期(累計)決算概要(前年同四半期比)＞

【売上高】

前年同四半期比 38.4 億円 (+4.9%) の増収となり、既往ピークの売上を更新。

＜国内＞ 前年同四半期比 18.9 億円 (+5.2%) の増収。自動車関連は、国内自動車生産・販売台数が前年に引き続き堅調な中、自動車エンジンの高効率化にともなう高付加価値エンジン軸受が伸長し増収。建設機械向け軸受販売も堅調を維持し、船舶向け軸受販売も増加した。

＜海外＞ 前年同四半期比 19.4 億円 (+4.7%) の増収。自動車関連が総じて堅調に推移し、建設機械関連も増加して、アジア・北米・欧州(ロシア含む)と海外の所在地別売上高も全て増加した。

【利益】

販売費及び一般管理費の減少や、前年同四半期に生じていた買収2社に関連する一時的費用が無くなったことなどにより、営業利益は55.8 億円と前年同四半期に比べ9.7 億円の増益となり、経常利益は55.1 億円と同7.2 億円の増益となった。親会社株主に帰属する四半期純利益は32.0 億円と同8.5 億円の増益となった。

＜連結業績予想、配当予定＞

2018年5月11日に公表した業績予想に変更はありません。なお配当予想につきましては、中間15円、期末15円の年間30円を据え置いております。

＜所在地別(前年同四半期比)＞

◇ 国内

・前年同四半期比の売上高増減率は+5.2%。

＜自動車関連＞

国内自動車生産・販売台数が前年に引き続き堅調な中、自動車エンジンの高効率化にともなう高付加価値エンジン軸受が増加した。

＜建設機械向け＞

建設機械向け軸受販売が輸出を含めて増加した。

＜船舶向け＞

大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受及び中小型船舶など向けの中高速ディーゼルエンジン用軸受が増加し、当社の受注は復調傾向。

＜一般産業向け＞

電力・エネルギー関連の発電設備用の特殊軸受や電気二重層キャパシタ用電極シートなどが押し並べて底堅く推移した。

・営業損益は、前年同四半期に発生した買収2社に係る一時的な費用が無くなったことなどにより増益となった。

◇ 海外 (12月決算の会社については1～9月の累計)

【アジア】

前年同四半期比の売上高増減率は+2.7%。自動車関連では中国やタイが増加したが、韓国・インドネシアなどが減少した。営業損益は前年同四半期に発生した一時的な費用が無くなったことなどにより増益となった。

【北米】

前年同四半期比の売上高増減率は+11.4%。米国の新車販売台数が引き続き高水準であったこと、北米での新規開拓が進んだことなどにより自動車関連売上高が増加した。また、建設機械分野の好調も寄与した。営業損益も前年同四半期のメキシコの工場の増産に伴うコスト増要因が解消し増益となった。

【欧州】

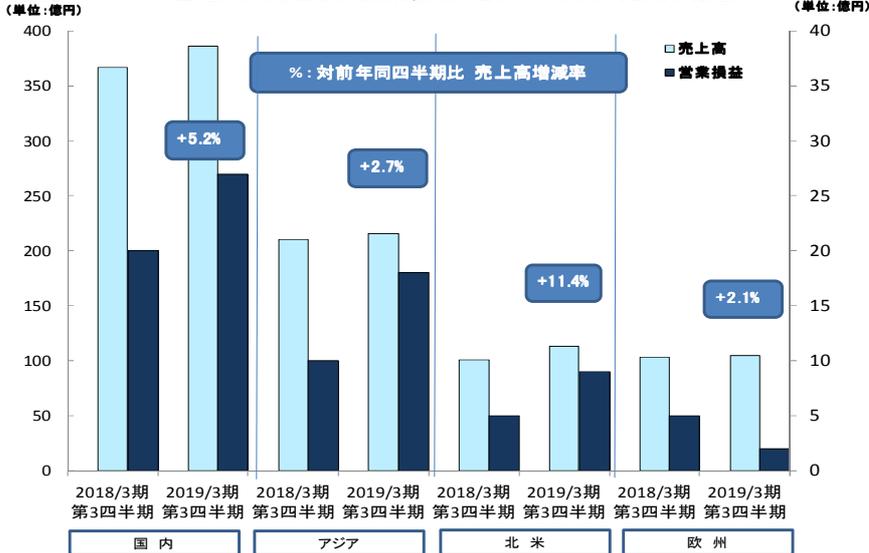
前年同四半期比の売上高増減率は+2.1%。欧州(ロシアを含む)では、自動車関連を中心に全般的に底堅く推移し、売上高は増加した。営業損益は、ドイツの研究開発拠点及び営業拠点の費用増加などにより減益となった。

通期業績推移	実績			2019/3期 第3四半期(累計)	2019/3期 通期
	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期		
売上高	81,400	85,073	106,648	82,173	107,000
営業利益(営業利益率)	7,114(8.7%)	5,103(6.0%)	6,511(6.1%)	5,589(6.8%)	6,700(6.3%)
経常利益(経常利益率)	6,796(8.3%)	5,427(6.4%)	6,708(6.3%)	5,518(6.7%)	6,900(6.4%)
親会社株主に帰属する四半期純利益(純利益率)	3,919(4.8%)	2,635(3.1%)	3,281(3.1%)	3,203(3.9%)	4,700(4.4%)
為替レート(1USドル/円)	120.61	116.49	113.00	113.57	107.00
為替レート(1ユーロ/円)	131.77	122.70	134.94	132.14	125.00

セグメント情報(事業別)	セグメントの売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)					
	2018/3期 第3四半期		2019/3期 第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	48,006	59.9%	50,154	59.4%	2,147	4.5%
自動車用エンジン以外軸受	11,909	14.8%	12,747	15.1%	837	7.0%
非自動車用軸受	6,852	8.5%	7,416	8.8%	564	8.2%
自動車用軸受以外部品	11,464	14.3%	12,002	14.2%	538	4.7%
その他(※)	1,994	2.5%	2,088	2.5%	94	4.7%
合計	80,227	100.0%	84,410	100.0%	4,183	5.2%

(※)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前)推移



主要財務指標	2016/3末	2017/3末	2018/3末	2018/12末	2018/3末pt
売上高営業利益率	8.7%	6.0%	6.1%	6.8%	+0.7pt
自己資本当期純利益率(ROE)※	9.0%	5.9%	6.9%	8.0%	+1.1pt
自己資本比率	35.8%	29.1%	30.6%	34.6%	+4.0pt
純有利子負債(有利子負債-現預金)	23,237	49,108	52,129	44,970	△7,159

※ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	実績				対前年同四半期比	
	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期	2018/3期 第3四半期(累計)	2019/3期 第3四半期(累計)
設備投資	10,597	14,802	12,329	8,694	6,561	6,990
減価償却費	5,744	6,259	6,751	8,795	6,431	6,396
					429	△35
					6.5%	△0.5%

(注) 1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 前連結会計年度において、ATA キャスティングテクノロジー・ジャパン株式会社との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る連結業績については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが行われた後の金額となっております。
3. 『財務効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結累計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る連結業績については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。